

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%  
保護者様： 20名回答、回答率 87%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

・事業所はビルの2階にあるが、現在の利用者には問題なくご利用頂いている。また、コンセントや壁の引っ張りなどにはカバーを使用して、ケガや事故を未然に防ぐようにしている。職員体制に関しては、法令上の人員基準は満たしているが、男性職員が少ないことがあり、法人内の近隣他事業所と連携して対応している。

### ○業務改善

・利用者入室前に業務前ミーティングを行い、利用者の様子や支援方針等に関して共有・確認を行い、統一した支援になるよう務めている。支援後の振り返りに関しては送迎等の都合で全職員が集まる時間が取れないことも多いため、振り返りを行うタイミングや方法について検討していく必要がある。

### ○適切な支援の提供

・活動プログラムの立案は事業所職員で話し合って決め、前月の活動内容と重複しないようにしている。また、半年に一度は保護者と面談を行い、要望を伺ったうえで個別支援計画を作成している。

### ○関係機関や保護者との連携

・感染拡大防止の観点から、各種関係機関との交流や連携を制限していたが、徐々に担当者会議等への参加を行っている。参加が難しい場合は文書での共有などを行っている送迎時等保護者対応の際は、事業所との間で齟齬が生じないように状況説明するよう心掛けている。

### ○保護者への説明責任等

・感染拡大防止の観点から、保護者会の開催は制限していたため、月1回発行しているニュースレターや、教室ブログを定期的に更新することで活動内容をお伝えするようになっている。

### ○非常時等の対応

・月1回、自然災害や不審者対応をテーマにした避難訓練を行い、災害時の対応に関して確認している。また、虐待防止研修、身体拘束適正化研修を定期的に行い、法人内の他事業所の職員も交えての意見交換を行うようになっている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・事業所の環境に関しては大半が肯定的な意見であったが、「もう少し動き回れるスペースがあるといい」とのご意見もいただいた。職員の配置や専門性については、「障害について深く理解して支援してくださっている」など、概ね肯定的な意見をいただいた。

## ○適切な支援の提供

・放課後等デイサービス計画の作成、活動プログラムの工夫に関しては9割以上の保護者から「満足している」とのご意見を頂いた。放課後学童クラブや児童館、障害のない子どもとの交流に関しては感染拡大防止の為に制限しており実施できていないとの回答が多かったが、「特に必要性を感じていない」とご意見も頂いた。

## ○保護者への説明等

・支援内容の説明や定期的な活動内容の周知等に関しては9割以上の保護者からご満足頂き、「学校とも共有してくださってるので安心です」とのご意見も頂いた。保護者会の開催に関しては、「以前は保護者が多忙で参加率が低く、開催が難しいことは理解している」というご意見を頂いた。

## ○非常時等の対応

・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアルが周知されているか、避難訓練が定期的に行われているかという質問に対して、行われているとの意見が多く、「子どもも積極的に避難訓練に参加している」とのご意見をいただいた。

## ○満足度

・多くの保護者から「通所を楽しみにしている」「事業所の支援に満足している」との回答を頂き、「毎回楽しみにしている、できることも増え自信がついて色々なことに挑戦する意欲が出てきました」とのご意見も頂いた。引き続きご利用者様に満足して頂ける支援を提供していく。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・支援前の打ち合わせだけでなく、支援後の振り返りも行うようにし、支援の検証・改善に繋げていく。
- ・療育記録を正しく取り、職員間で内容をチェックすることを徹底し、教室全体での支援の検証・改善に繋げていく。
- ・緊急時対応、防犯、感染症対応マニュアルの周知。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・支援計画の策定会議などで、特定の利用者の支援方法に関して話し合う時間を設定できた。支援後の振り返りに関しては、送迎等の都合で時間を取ることが難しかったが、翌日の業務前ミーティングで振り返りを行うなど、定着させていきたい。
- ・事業所ブログに関しては月1回以上更新することができ、活動内容を周知することができた。利用者の保護者からも「楽しみにしています」とのご意見を頂けた。
- ・各種マニュアルの周知に関しては、ブログでの発信を行う事が出来、前年度よりも多くの方に周知することが出来た。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・集団活動の立案、実施をチームで行えている。また、集団活動の内容を決める際は、前月の活動内容と照らし合わせて、重複などがないようにし、活動内容が固定化しないよう工夫できている。
- ・月1回のニュースレター発行、教室ブログの定期的な更新により、活動内容を保護者の方に周知できている。

### ○改善点

- ・支援後の振り返りの時間を確保することが必要である。送迎等の都合で振り返りの時間を確保することが難しいが、時間帯などを決めて、支援後の振り返りを行い、今後の支援に繋げていけると良い。土曜日や長期休み等で職員全員で話し合うことが難しい場合は、業務用チャットや専用ノートを使つての振り返りや伝達を行っていけるように検討する。
- ・感染対策に留意しつつ、保護者会や療育参観等、保護者同士の交流の場を設ける工夫が必要である。仕事が忙しい、教室まで距離があるなどの理由で参加が難しい方も多いため、実施方法の工夫を検討する。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・支援前の打ち合わせだけでなく、支援後の振り返りも行うようにし、支援の検証・改善に繋げていく。
- ・感染拡大防止に留意した保護者会の開催。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・支援後の振り返りに関しては、送迎等の都合で時間確保が難しい場合もあるが、5～10分の短時間からはじめ、習慣化していく。また、業務用チャットや専用ノートなどを活用し、当日勤務していなかった職員にも周知できるよう、伝達方法を工夫していく。
- ・保護者に対し、保護者間の交流を希望するか、どういった方法であれば参加しやすい、してみたいかなどをアンケートを実施し、把握する。